

ジェイアールバス東北本部

第21号 2025年3月14日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3982
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申5号「2025年度賃金引き上げ等に関する申し入れ」について趣旨説明を行う！

JR東労組バス東北本部は、3月14日に「2025年度賃金引き上げ等に関する申し入れ」について趣旨説明を行いました。主な議論経過は以下の通りです。

組合

◆2024年度の業績は、上方修正された収支計画のもとで年度当初から厳しい月次損益の推移となっていたが、黒字決算が見込まれている。

- ◆黒字化に向けた様々な施策を担ってきているのは、間違いなく厳しい要員体制の中でも日々奮闘してきた組合員・社員の努力である。
- ◆組合員・社員の日常生活に目を向ければ、毎月何かしらの物価が値上げしている現状によって苦しい日常生活が継続している。
- ◆人材流出は深刻化しており、組合員・社員は助勤や休日出勤など過去最高の働きであり、終わりの見えない要員不足により疲弊度は限界に達している。
- ◆各現場では、要員不足によって業務遂行にも限界が見えてきており、あらためて人材確保と定着は待たなしの労使共通の課題と強く認識している。
- ◆将来に向けた人材確保と定着に対する強い危機感から、満額回答を強く求め3月28日を回答指定日として要求する。

会社

■2024年度は、インバウンド需要が戻りつつもコロナ禍前の8割の収入である。
■要員不足の認識はあり、特に仙台地区が足りていないが、採用は計画通りである。

- 各現場の助勤対応、また、今年は青森の大雪の中で輸送を守ってくれていることに感謝申し上げる。
- すでに社内で議論はしており、社員の皆さまに最大限の還元をするが、一時的ではなく将来に関わることをふまえ判断することを理解してほしい。
- 採用を強化し、離職を防ぐためにも、働きやすく働きがいがあるよう待遇改善を考えており、これまでのボーナスやベアでも他社よりハイレベルの判断をしてきた。また、生活が苦しいのは分かるので、できる範囲で最大限の還元をしようと考えている。

魅力あるジェイアールバス東北会社を創り出すため、人材の確保・定着と、
技術継承・人材育成を労使の共通認識とし、要求満額での回答を強く求める！